

# 江戸城かわら版

認定NPO法人江戸城天守を再建する会

令和6年7月10日



## CONTENTS

- 11 江戸城寛永度天守模型が羽田空港に活動報告・自標を高く掲げて活動を継続
- 10 江戸文化第三回/イキザマのキックオフ
- 8 広島城木造再建統報・クラファンで後押し
- 7 各地に根付く伝統芸能「盆踊り」の今
- 6 大地震と大災害・私の専門分野との接点
- 5 黒田源「江戸東京の災害遺構をたどる」④
- 4 名城の天守②丸亀城天守
- 3 小栗上野介の生涯が教えてくれること
- 2 会員のひろば/事務局からのお知らせ

## 江戸城寛永度天守が羽田空港に

### 模型が置かれたヴィーガン日本食レストラン 第三ターミナル四階に七月末オープン

羽田空港第三ターミナル四階に、二〇二四年七月末オープンする、ヴィーガン日本食レストラン「ダイバーシティ・ダイナー」の店内に、長谷川進氏(城郭模型作家)が制作した江戸城寛永度天守の七十分の一模型が展示されます。

都内に設置・公開されている長谷川氏の江戸城天守作品として三つ目となり、神田明神(資料館)、東京国際フォーラム(ガラス棟)に続くものです。羽田空港の国際線ターミナルに、店内に天守模型を展示する日本食店がオープンしました。

ダイバーシティ・ダイナーでは、天守模型展示に合わせて、木をふんだんに使った内装、日

本を味わえるおいしいヴィーガン日本食へのこだわり、日本文化や日本アートなど、お客様をお迎えするためにふさわしい日本を伝える感じる店舗空間を創造します。

店舗のコンセプト作り・運営を担う株式会社インターキューブ社長の丸山文久氏は「生業である商業施設の空間デザインを進める中で、装飾品が多く廃棄物を生み出していることへの代償を模索してきました」と語りました。

理事 近藤一郎

夏季号

店名：Diversity Diner (ダイバーシティ・ダイナー)  
 店舗位置：羽田空港第3ターミナル4階  
 種類：ヴィーガン日本食

店内で迎えてくれる江戸城寛永度天守模型



東京都内に設置された江戸城天守模型一覧

制作者	模型種別	縮尺	模型の設置場所	設置年
長谷川進氏	外観復元	70分の1	羽田空港 第3ターミナル4階(ダイバーシティ・ダイナー)	2024年
長谷川進氏	外観復元	84分の1	東京国際フォーラム(ガラス棟)	2017年
長谷川進氏	外観復元	72分の1	神田神社【奉納】(資料館)	2011年
中央工学校	軸組模型	50分の1	中央工学校/貸出要相談	2024年
宮内庁	外観復元	30分の1	皇居東御苑本丸休憩所(増築棟)	2020年

# 四月、六月の 活動報告

# 目標を高く掲げて 活動を継続

かわら版夏季号には、四月、六月の活動をまとめました。すべての活動で請願署名を集めることを意識しています。令和六年度は年間一万筆を目標にしているところ、五月末日までに衆議院分が一〇五二筆となっており、収集ペースの増加が必要です。

上期の請願署名を振り返ると、二月に上野公園で開催され

たサムライフェスの結果が印象に残っています。四日間の会期のうち三日間は終日の小雨にたられたため数字が伸びませんでした。天気回復した残り一日だけで三〇〇近くの数を集めることができました。

現在、愛知や大阪や姫路など、お城とゆかりが深いエリアごとのお城エキスポが各地で開催される状況になっていますので、それらに集まっているお城ファン、歴史ファンから低コストで署名を集める名案が出てきそうです。



ファミリーバザールで署名集め

ファミリーバザールから帰って来る人の顔と、当会テント内のスタッフの顔が向き合うようにしました。



江戸城交流会の多彩な参加者

(表1) 署名集め	開催日	署名者数
岩本町・東神田ファミリーバザール	5/25 ~ 6/2 の土日	163
上智大学ソフィア会	5/26(日)	27
国際環境施設協会の総会	6/17(月)	70
IKIZAMA 設立記念第1回定例会	6/22(土)	10

(表2) セミナー、集会	開催日	入会、参加、署名
江戸城交流会	4/30(火) 太田会長	入会4(参加35)
推進リーダー勉強会	5/11(土) 寺村副理事長	参加18
特別セミナー&昼食会	6/8(土) 太田会長	参加9
第3回江戸文化サロン	6/14(金)	参加20

(表3) 散策ツアー	開催日	入会、参加、署名
アンバサダーと行くツアー	4/6(土)	入会1、署名8(参加10)
東御苑散策ツアー	5/18(土) 6/15(土)	入会6(参加19)
東京根室会のガイド	5/18(土)	入会1(参加28)
朝鮮通信使のガイド	6/2(日)	入会1(参加32)



するとテントから呼び掛けやすくなって足を止めてくれる人が増え、署名数が上がりました。江戸城交流会(表2)とは、現在取り組んでいる「会員一人に新会員一人を紹介してもらう」キャンペーンの手法開発をチームメンバーが合同で行ったもの。天守再建のテーマのおもしろさ(講演)と入会による人脈作りの可能性を感じてもらえたようです。

# 江戸文化サロン(江戸に学び江戸を楽しむ)

## 「江戸の食文化」シリーズ第三回『神田で味わう鰻』

第一弾「てんぷら」、第二弾「江戸前寿司」に続き今回は「鰻」。

六月一四日、「いづもや」神田本店に二〇名が参加しました。会員であり江戸食文化愛好家の沼田義樹さんが江戸食としての鰻の歴史を、続いて同店社長の鈴木保久さんが鰻の養殖と生態についてお話しくださり、その後美味しい肝焼とうな重をいただきました。

**鰻**が蒲焼として食されるようになったのは室町時代。丸ごと串刺焼き鰻が「蒲の穂」に似ていたため「蒲焼」と呼ばれました。一七世紀後半、鰻を背開きに割いて串刺しにして焼く蒲焼が京に出現、江戸に伝わりました。

享保の頃、深川八幡前に蒲焼で酒を出す蒲焼屋が多数出現。一皿一七二から二〇〇文。庶民は「辻売り」や「笹(ざる)売り」から一串二六文で買っていました。その頃「江戸前」という言葉が使われ始め蒲焼屋は看板に「江戸前大蒲焼」と書いて宣伝。浅草川(隅田川)や深川で捕れる鰻を「江戸前」と称し高く評価、それ以外は「旅うなぎ」として格下に扱いました。

江戸中期後半、浅草川や深川の鰻は「ブランド」化し「蒲焼」は「江戸前」を冠します。一八世紀後半、

江戸周辺で開発された「濃口醤油」と「白味噌」を使ったタレが考案され「江戸つ子好みのコクのある甘い香ばしい」蒲焼が誕生しました。

**蒲**焼屋は下戸や女性を開き込む戦略として「付け飯」を提供し、文化年間(一九世紀前半)には蒲焼と白飯とタレが一体化した「鰻飯」(二〇〇文から二〇〇文)

を開発、「どんぶりもの」第一号となりました。

ウナギは河川や湖で成長し海で産卵する習性をもちます。ニホンウナギの養殖は海や川で採捕したウナギの稚魚シラスウナギを養殖場で大きく育てていますが、近年このシラスウナギは乱獲、生育環境の悪化、気候変動(地球温暖化)の影響に

よる海水温の上昇や海流の変化によって絶滅の危機に瀕しています。

二〇一〇年ウナギの完全養殖に成功しましたがコスト面などの壁は厚く、完全養殖ウナギが私たちの食卓に並ぶにはまだ課題が多数です。次回は蕎麦かどうしようを取り上げる予定です。

(幹事・岡本篤子記)



第三回神田で味わう鰻

## IKIZAMAがキックオフ

2024.6/22 1400-1700予定  
@レキシズスペース  
**IKIZAMA**  
全て語ります!  
-いま、語り遺したい私の生き様-  
設立記念 第1回定例会  
vol.1 鈴木智博の生き様 / vol.2 諸星天音の生き様



当会の協力団体である(一社)IKIZAMAが、六月二二日、「設立記念・第一回定例会」を開催しました。

初回は代表理事である鈴木智博さん(戦国魂プロデューサー)が、構想していた生き様講演を自ら二時間かけて行いました。若き京都時代から始めて、東京進出後およそ二〇年間、紆余曲折しながら継続してきた歴史ビジネスを振り返ってくれました。各地で歴史を素材にした地域起こしをしながら歴史セナスを磨いてきた今、求められていることは歴史を使った人材開発であるという気付きを得ました。

そして今、江戸城天守再建が日本全体の再建と重なるようになって見えてくるそうです。江戸城天守の再建は理屈の上で賛成・反対を議論している場合ではなく、大切なことは「建てるかどうか」です。IKIZAMAを使って天守を建てる経営者を集めることへの決意表明がありました。

また、戦国時代の博士ちゃん(中学生)である諸星天音さんのゲストスピーチ「私のIKIZAMA」を楽しめました。

(理事 近藤一郎)



講演する鈴木智博さん

# 広島城天守木造再建に関する現地報告(オンライン講演)開催

市で木造再建に向けて検討が始まり、市民団体は毛利輝元公(広島開府の祖)の銅像建立によってこの動きを後押し

当会は2021年8月に「全国お城物語」オンライン講演の第1回として「広島城天守閣の木造復元を実現する会」会長の大橋氏、同顧問の平岡氏に語っていただきました。

広島城は1589年、西国の大大名・毛利家によって築城され、五重の天守に三重の小天守を二基連結し、豊臣大坂城天守を超える規模でした。現存していた天守は昭和20年8月、原子爆弾の衝撃波に耐え切れず倒壊しました。その後広島城天守は昭和33年に鉄筋コンクリートで再建されましたが、2020年の耐震診断では、補強工事が即刻必要という結果になりました。

その後木造再建に向けた検討が進んでおります。広島市は2023年11月に「広島城天守の復元等に関する検討会議」(メンバー7名)を設置、第一回の会議が行われて、三浦正幸・広島大学名誉教授が座長に任命されました。2024年5月の第二回では、現天守の解体などについて検討されました。

一方「広島城天守閣の木造復元を実現する会」は広島城を築いた毛利輝元公の銅像建立をめざしています。2025年の輝元公没後400年に合わせて銅像を城内に建立することで、郷土愛、郷土の誇りの醸成を図るとともに、天守の木造復元実現に向けた機運を高めようとしています。

本講演では、前回の講演から3年間の広島城天守再建に関わる動きと今後の見通し、銅像建立の資金を調達するクラウドファンディングなどについて語っていただきます。

## 毛利輝元公銅像建立クラウドファンディングの概要

■運営会社 READYFOR ■告知開始日 7月2日(火)開始 ■目標金額 1000万円



講演：令和6年7月21日(日)午後1時30分開始・PCもしくはスマホを使って視聴(Zoom使用)。クラウドファンディング 講演お申込み(申込締切 7月19日(金))

講師：大橋啓一

広島城天守閣の木造復元を実現する会 会長

講師：平岡優一

同会顧問、広島市市議会議員

●参加費：会員無料／一般3000円／広島県居住者無料(地元割引)

●申込方法：QRコードから「こくちーず」で申込み、もしくは以下の申込先まで。

<https://www.kokuchpro.com/event/240721/>

●問合せ先：下記事務局。なお金土日は事務局閉局のため kondoi1007@gmail.com へ。

●申込先：江戸城天守を再建する会 事務局(月～木10:30～16:30)

Mail: [info@npo-edojo.org](mailto:info@npo-edojo.org)

FAX:03-6423-1897 ☎03-6423-1882



## 江戸文化サロン

(江戸に学び江戸を楽しむ)

【落語】シリーズ第一回

「料亭で古今亭菊之丞師匠の落語を聴く会」

落語家の始まりは元禄期頃とされており、寛政期(一七〇〇年代後期)に入ると落語の人氣が高まり「寄席」が生まれました。寄席は庶民の娯楽場として急速に広がり現在に至ります。今回は古今亭菊之丞師匠の古典落語を料亭で楽しむという贅沢な趣向です。

●日時：九月一日(日) 一四時開演(開場一三時三〇分)

●会場：浅草「茶寮一松」

●出演：古今亭菊之丞師匠

●会費：三千元(会員・一般とも)

## 全国お城物語シリーズ

高松城の桜御門の復元報告(仮称)

桜御門は高松城三の丸に置かれた櫓門。高松空襲によって焼失しましたが、木造復元されて二〇二二年に一般公開されました。復元の意義等についてお話しいただきます。

●日時：九月八日(日) 一四時開演

●オンライン講演

(PCまたはスマホで視聴)

●講師：大嶋和則(高松市創造都市推進局文化財課)

●会費：会員無料／一般三千元

# 「盆踊り」は伝統芸能として 地域の文化に 深く根付いています

コロナ禍が明けて全国の盆踊りもだいたい復活しました。

盆踊りの起源は一〇〇〇年前からと言われます。祖先を用い、豊作を祈願する目的で生まれたと考えられます。地域毎にそれぞれの特徴を持ちます。

今回、二〇一五年に作られた盆踊りパフォーマー「盆女」の代表であり、後述の「日本盆踊り協会の理事でもある子奈(こな)さん(当体会員)にお話をうかがいました。盆女のメンバーは日本舞踊に習熟しているという共通点があります。盆踊りが、好きな踊りを存分に披露



盆女のメンバー

できる場となっているといえます。

盆踊りがさかんな季節といえは夏です。早いところは六月から始まり、遅いところでも一〇月に終了します。後述するように一年中室内で楽しめる場所も登場しました。

東京二三区で二〇一九年に自治体や寺社が開催した盆踊り大会の数はおよそ一〇〇〇件です。これに民間主催の盆踊り大会が加わります。盆踊りは日本の伝統芸能であり、東京が唯一、全国の盆踊りを楽しめる場になっているといえます。なおアニメソングなど盆踊り



盆踊り居酒屋でお客様に参加を呼びかけ



の曲目ではなかった曲に、既存の盆踊りの振り付けをほとんどそのまま流用できるそうです。これによって地域で愛されている曲などを盆踊り用にアレンジすることができるようになりました。盆踊り大会でアレンジ曲が取り入れられることが増えています。

なお盆踊りを次世代に伝えてゆくための活動を行っている団体(一般社団法人)が「日本盆踊り協会」です。日本盆踊り協会が行っている盆踊りの普及を後押しする活動として『出張盆踊り』と『盆踊り居酒屋』があります。



盆踊り居酒屋での踊り披露

トや飲食店向けに、それぞれ地元での専門団体をご紹介して現地における踊り手を手配します。東京から踊り手を派遣することもあります。

盆踊り居酒屋(ハナミチ新宿歌舞伎町ビル三階)の方は始まって間もないそうです。飲食をすることが前提ではありませんが、店内に設けられた舞台上、年中決められた日時に盆踊りを実演してくれます。(スケジュールは「盆踊り居酒屋」で検索)前述したようなアレンジされた盆踊りを楽しむことも経験できます。

## 本の紹介「千代田の大奥」



明治最後の浮世絵師・楊洲周延(ようしゅうちかのぶ)が描いた大奥の日常「千代田の大奥」が蘇りました。一組三枚続(つづき)の四〇組の連作です。A四変型判、全体一七二頁の特殊製本。編集者…山本勝美。二〇二三年九月二九日発行。税込価格三万三千元。当体会員には相談のうえ割引いたします。事務局へご連絡ください。

## 「第一回江戸城天守軸組模型制作見学会」を実施

■日時：5月28日 ■参加者数9名 ■場所：中央工学校



機軸の三階より上部とそれより下部が繋がった具合が重なるチェック。向かって左側が渡邊先生、右側は学生さん。

# 大地震と大災害

## 江戸城天守の再建と私の専門分野との接点

新宮清志

日本大学名誉教授・工学博士・二級建築士・当会会員

### 一、はじめに

江戸城かわら版春季号（第71号）の「会員のひろば」に「地震大国日本における天守再建では耐震対策を忘れずに」と題する拙文を掲載して戴きました。本稿では、自分の専門分野にも触れ、標記に関してやや詳しく考えてみたいと思います。

昨年は「関東大震災」（一九二三年九月一日午前一一時五八分）から一〇〇年というところで、日本建築学会等の学術団体で関東大震



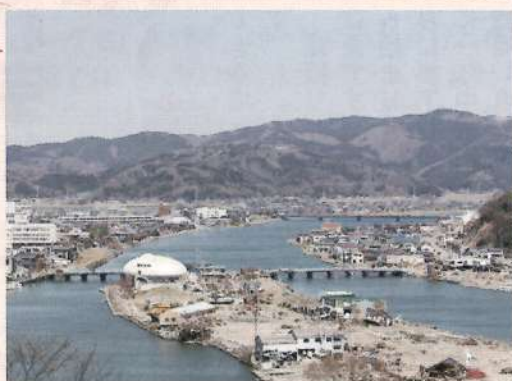
【写真1】宮城県女川町での被災状況 (2011年4月17日、筆者撮影)

災関連のシンポジウムがいくつも開催され、とても熱心に議論が行われました。

富士山の噴火（一七〇七年旧曆十一月二三日）からは三二〇年弱が経過し、次の噴火も大きな懸念材料ではありますが、ここでは、大地震やそれに伴う大震災（建築物と被害）等について論考します。

### 二、東日本大震災の被災地視察

二〇一一年三月一日（金）一四



【写真2】宮城県石巻市内の河川流域での被災状況 (2011年4月17日、筆者撮影)

時四六分頃に東北地方太平洋沖地震（マグニチュード九・〇）が発生し、大津波が生じ、甚大な被害が生じたことは記憶に新しいですね。当時、筆者は日本建築学会副会長であり、後に東日本大震災調査復興支援本部副部長に就任することが比較的早い段階で分かっていました。そのため、後日、吉野博先生（当時・東北大学教授）に被災地視察に関して相談し、種々段取りをして戴きました。

四月一六日には、田中礼治先生（当時・東北工業大学教授、日本建築学会東北支部長）や源栄正人先生（当時・東北大学教授）を始め多くの研究者の方々に協力して戴き、東北大学構内・仙台市内・仙台空港・仙台港・名取市等の被災状況を東北大学の特別車両で視察することができました。なお、この特別車両を利用したのは筆者が最初のことでした。

宮城県女川町での被災状況（写真一）では、転倒した鉄筋コンクリート構造の建物（左側の建物）をご覧いただけると分かります。これは、大きな地震動によって被害を受けた杭が液化化現象で抜けや

すい状態となっているところに、さらに津波が襲ってきて杭ごと抜けて転倒してしまったと考えられます。非常に衝撃的な光景でした。石巻市内の北上川の中瀬における被災状況（写真二）では、写真の左の方にシェル構造（曲板構造ともいいます。詳細は後述）らしい建物（石ノ森萬画館）をご覧いただけると思います。これは、大きな地震動によって多くの建物が崩壊した後に来襲した津波によって殆どの建物が流されたなかで、ちゃんと立っている極めて稀な建物です。建物の中に浸水したようですが、建物全体としては崩壊を免れた好例です。

### 三、シェル構造

前項において、シェル（構造）は地震や津波に対して強そうだ、ということについて述べました。シェルとは、「厚さが他の寸法、例えば曲率半径やスパンに比して小さい曲がった板」と定義されています（図一）。

身近なシェル構造として、鶏の卵があります。これを例に強さの秘密を探ってみました。卵を指で押し潰すあるいは、手で握り潰すのはとても大変なことであります。これは、卵の殻全体に亘って、厚さ方向についてほぼ一様な応力状態になるからであります。別な例で考えれば、箸を長手方向に引きちぎれない（あるいは、

押しつぶすことができない）ですが、曲げれば簡単に壊すことができることから類推することができると思います。

写真三は、筆者が大学院生のときに、師匠（当時・西村敏雄日本大学教授）の解析・実験のお手伝いをして完成した建物の内部空間です。

### 四、おわりに

地震や津波などに対して、シェル（構造）のように強くて壊れにくい構造があることを、具体例を挙げて示しました。



【図1】シェルの定義説明 (R: 曲率半径、t: 板厚)

【写真3】千葉県スポーツセンター（鉄骨円錐形シェル、1971年竣工、応力解析：新宮担当、筆者撮影）

# 黒田涼の江戸④東京歴史講座 江戸・東京の災害遺構をたどる ④

## 高潮にも苦しんだ江戸 忘れがちな高潮被害

作家・江戸歩き案内人  
当会特別顧問  
黒田涼

関東大震災一〇〇年を契機に振り返る江戸の第災害遺構シリーズ。四回目は忘れられがちな高潮被害です。

### 低湿地・埋立地で 大きかった高潮被害

江戸で高潮の被害が大きかった、というところ「東京でも高潮が来るんだ」という感想を持たれる方が多いと思います。

高潮は台風などが海側から接近し、低い気圧や強風で海水面上昇して沿岸部が水に浸かる災害です。津波や高波と違ってじわじわと迫る場合がほとんどです。

実は江戸は高潮の常習地帯でした。近年の日本では東日本大震災の被害や南海トラフ地震の不安か

ら津波被害がクローズアップされがちですが、江戸・東京は巨大津波に襲われたことはありません。

というのも、東京湾は入り口が狭くすぼんでおり、津波の影響を受けにくいのです。東京湾内で断層が大きく動くなどの現象がない限り、大津波は来ません。関東大震災の際は、一、二メートルの高さだったと言います。

もちろん二メートルの津波でも沿岸部では危険ですので注意が必要ですが、江戸を頻繁に襲ったのは高潮でした。これも東京湾の地形が関係しています。東京湾は南北に続いており、南からやってきた台風が湾内に入ると、あつという間に海面が上昇します。また台風を動かす風は南風で、これが台風の渦と重なる右側では海水が北

に吹き寄せられ、さらに海水面が上昇します。

### 繰り返し襲われた 沿岸部は居住禁止地も

台風は毎年日本を襲いますが、運悪く江戸近辺を通過したり、その時間が大潮と重なったりすると大きな被害が出ました。特に江戸は隅田川東岸の低湿地を開拓したり、遠浅の海を埋め立てて築いた標高の低い土地が多く、人口密度も高いことから大きな被害が繰り返されました。

一八五五年の安政大地震の翌年

に江戸は高潮に襲われ、はっきりした統計がなく史料に大きな開きがありますが、数百人から数万人が亡くなりました。

沿岸部が危険であるのは幕府もわかっており、一七九一年の大潮の後、沿岸部に二つの石碑を建て、それより南の地への居住を禁止しました。これは「波除碑」と称し、なんと今も残っています。

一つは江東区木場六丁目にある洲崎神社境内にあります。震災や戦災で江戸時代の碑はボロボロですが、横に近年建てられた「津波警告の碑」が建ちます。この「津波」は高潮のことです。

もう一つはそこから西に五〇〇メートルほど進んだ江東区牡丹三丁目の平久橋袂にあり、こちらも上が欠けて碑文はほとんど読み取れません。

高潮は江戸時代だけのものだったかというところであります。一九一七年にも台風の接近と大潮が重なり、海水面が四・二メートルも上昇して六万四〇〇〇棟が

浸水、一三〇一人が亡くなりました。

江東区北砂四一三の持宝院に供養塔があり、南砂二一三には近隣住民が建てた波除地蔵尊があります。

東京湾の現在の防潮堤の高さは低いところで四・六メートルで、大正の高潮は結構ギリギリです。東京は地球温暖化を受け、一・四メートルの嵩上げを計画しています。

### 上流から流れ着く 犠牲者も

また河口部に位置する江戸・東京には、しばしば上流部での洪水などの犠牲者が流れ着きました。佃島には洪水のたびに水死者が流れ着いたといえます。近くのお台場海浜公園の第三台場に続く堤防には、都港湾局が建てた慰霊碑があります。

珍しいものでは、江戸川区東小岩二丁目の善養寺には「浅間山噴火犠牲者供養碑」というものがあります。一七八三年の浅間山噴火の際に発生した土石流の犠牲者がここまで流れ着き、村人が葬ったそうです。葛飾区柴又五丁目の宝生院にも同様の碑があります。浅間山からは直線でも一四〇キロ以上の距離があります。災害の恐ろしさがわかります。



洲崎神社境内の「津波警告碑」  
その右後ろが「波除碑」



南砂町二丁目公会館にある  
波除地蔵尊



お台場の慰霊碑



浅間山噴火犠牲者供養碑

# 歴史に残る名城の天守

## 第28回 丸亀城天守

三浦正幸

広島大学名誉教授  
当会特別顧問

### 天守の建築年代

現存する丸亀城天守は、万治三年（一六六〇）に外様大名の京極高和が建てたと言われているが、その年代は天守三階の壁の中に塗り込められていた祈禱札によるものなので、天守の建築年代とは言えない。祈禱札とは、大規模な建設工事が終了した時に、その永続と家門繁栄などを祈禱した木札であって、実際の建築工事の終了後、かなり後になってからでも祈禱を執行するものだからである。

分石垣、当年大形出来可仕候（黄色の付紙の分の石垣は、今年ほぼできあがりですと合わう）と記されていることと合わせてみれば、天守は正保二年には内壁の仕上げはともかく一応完成していたことが明白である。なお、同絵図には天守に「矢倉六間五間」と記されており、天守ではなく矢倉（櫓）として幕府に申告されている。一階の規模は六間に五間であって、もちろん現存天守と一致する。創建当時、天守ではなく櫓として申告したのは、創建年代が元和元年（一六一五）の武家諸法度公布に後れたことによる。城の増築や新築を厳禁する法令で、その公布時に天守がなかった城には原則として天守の新築は認められなかった。そのため、天守と同等の三重櫓を建てて天守代用としたのである。これを天守代用三重櫓という。名目上

は三重櫓であるが、実質的には天守であった。天守と天守代用三重櫓の違いは、名称だけであるが、通常の三重櫓とは大きな違いがあった。天守や天守代用三重櫓には外観の表側裏側の区別がなく四方に窓を開くが、通常の三重櫓は裏側には窓がない。櫓は裏側にまで回り込んだ敵に対してもはや見張る必要がないからである。天守代用三重櫓は天守と同等なので、「八方正面の櫓」とも呼ばれた。丸亀城の天守代用三重櫓は、実質的には天守なので、今日では天守と呼ばれている。同様な例は弘前城（青森県）天守である。

### 耐震建築の元祖

丸亀城天守は本丸の隅部ではなく、本丸北正面の中央部よりやや二の丸寄りに建つ。現在は天守が独立しているが、かつては東西両側には多門櫓が接続しており、その多門櫓の中から天守へ入った。したがって、現状は独立式天守だが、当初は一種の複合式天守だった。

一階は長辺六間（六尺三寸間）に短辺五間（中央六尺一寸間、両脇六尺三寸間）で、北正面の東に寄せて出窓型石落を出す。梁間の中央の柱間寸法をわずかに短くするのは、石垣の築造誤差の調整であろう。

建築年代が元和・寛永期より下降するので、内部には当初から畳は敷かれておらず、間仕切りも全くないが、上方に垂れ壁を付けることで、周囲一間を入側とし、身舎は十二畳大の二室に分かれることを示している。その十二畳大の部屋の内部に独立柱を二本ずつ配して構造補強をしているので、結果的に一階は総柱になっている。また、隅柱に近寄せて側柱を二本ずつ立て加え、その頂部に火打（隅部において隅木と直交する方向に渡された短い梁）を渡して隅行き梁を支える補強がなされている。火打を用いた現存最古の天守であって、この時期以降、多くの天守で火打が応用されるよ

うになった。そして、はるかに時代を超えて現代の木造建築では、火打を加えるのは常識となっているので、元祖耐震建築といふべきであろう。また、その隅行き梁は入側隅柱を越えて室内の独立柱に達しており、類例がない頑強な構造補強を見せる。

二階は、四方から四尺三寸（およそ三分の二間）ずつ通減させた平面で、その周囲一間を入側とし、身舎を一室とする。その結果、身舎は長辺二間四尺、短辺一間三尺六寸という中途半端な規模となり、その端数を処理するために入側隅柱に近寄せて入側柱を立て加える。さもないと入側の梁が渡せないのである。隅柱では、一階と同様に側柱を加えて補強し、火打を設けるが、この際に加えられた側柱は、側柱筋の端数処理を兼ねている。

三階も同様に、四方から四尺三寸ずつ通減させた平面で、入側は設けずに一室とする。その結果、長辺三間余り、短辺二間余りとなっている。通減により最上階平面が小さくなっている。二階の長辺と短辺の長さの差である一間が大きく作用



し、随分と細長い平面となった。小型の三重天守の場合では、通常は各階で四方から半間ずつの通減とするので、その場合では、二階は五間に四間、三階は四間に三間となる。丸亀城天守はそれに比べて上階がかなり小さくなって、最上階の三階では通常の半分程度の大きさに縮んでいる。このような通減幅は極めて珍しい。それによって構造が複雑になって設計に苦労した反面、延べ床面積が小さくなって建築工費がかなり削減でき、また上階が小さくなったことから透視効果が生まれて、本来の高さよりもずっと高く見える。壮大な石垣の上に聳えているため、この透視効果は絶大で、現存最小の天守でありながら目の錯覚で大きな天守に見えてしまう。

## 外観の傑作的技法

天守の外観は、一重目長辺側に向唐破風、二重目短辺側に千鳥破風を飾る。向唐破風には、社寺建築と同じ虹梁と幕股を造っており、格式が高い。最上重の入母屋破風は、層塔型であるので、通常は短辺側に向くが、

この天守では、無理矢理に長辺側に破風を向けている。一階の長辺（正面）側に最上重の入母屋破風を向けることにより、錯覚によって天守を大きく見せ、また格式を高めている。そのような構法は、天守に類例が全くなく、慶長二十年（一六一五）に完成した名古屋城本丸御殿の玄関が稀なる類例である。

外壁は一階のみに下見板張を加え、二階・三階は塗籠である。一階正面には三角形の鉄砲狭間を四つ、四角形の大筒（石火矢）狭間を二つ開く。この大筒狭間は床面にほぼ接して切られているので、手持ちの大筒ではなく、木製台座に砲身を据える形式の大筒を放つ狭間である。天守の大筒狭間の唯一の現存例である。狭間の蓋は薄い板戸を横引きにする新式である。二階・三階にも大筒狭間が切られているが、風当りが強いので、外側を塗り塞ぐ隠狭間となっている。

三階の北正面の窓は、引違戸を建てる二間続きの窓で、その外側に二間幅の木格子を取り付けたものである。天守の窓としては特殊であるが、下から見上げると窓が大きく見えて極めて立派である。鳥取城の二の丸三

階櫓（天守代用櫓）の正面側の窓も同様だった。



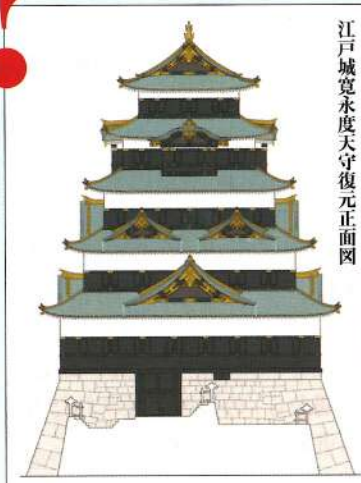
丸亀城天守正面



丸亀城天守一階の火打梁

# 江戸城クイズ②

「江戸城クイズ」第2回です。今回も難題です。奮って挑戦してください。



江戸城寛永度天守復元正面図

- 「江戸」の地名は、治承4年(1180)に、人名「江戸太郎重長」として、ある書物に初めて登場する。その書物とはどれか。  
(ア) 平家物語 (イ) 天養記 (ウ) 吾妻鏡 (エ) 玉葉
- 徳川将軍は將軍位を継ぐと、何と呼ばれたか。  
(ア) お館様 (イ) 御所様 (ウ) 上様 (エ) 公方様
- 一次の徳川将軍のうち、前将軍の長男でない者は誰か。  
(ア) 4代家綱 (イ) 9代家重 (ウ) 10代家治 (エ) 11代家斉
- 徳川将軍の献立に使われなかった食材は、次のうちどれか。  
(ア) 若芽 (イ) 柿 (ウ) 鱈 (エ) 兎
- 江戸城の修繕費用削減の為、8代吉宗は外郭の塀を全て撤去、代わりに植えさせたのはどの植物か。  
(ア) 松 (イ) 梅 (ウ) 蜜柑 (エ) 桜

\*解答は次号でお知らせします。第1回の答えはP10に掲載しました。出題▶当会理事・塚本一夫(江戸文化歴史検定一級/日本城郭検定一級)

# 小栗上野介の生涯が私たちに大切なことを教えてくれる

堀 早百合

映画「小栗上野介(仮)」製作準備委員会  
万延元年遣米使節子孫の会、  
柳営会 当会会員

三月に入会しました。よろしく  
お願いします。

私は最近「縁があつて映画「小栗上野介(仮)」製作準備委員会を立ち上げ、実現に向けて活動しています。私は当会の他に万延元年遣米使節子孫の会、幕臣の子孫の会である柳営会にも所属しています。

万延元年遣米使節団とは、日米修好通商条約批准書交換のため徳川幕府から派遣された七十七人の侍から成る使節団です。私の先祖森田岡太郎清行は勘定方責任者として三使(正使・副使・監察)に次ぐナンバー四の立場で渡米しました。ナンバー三である監察が、小栗上野介忠順(当時は豊後守)です。

小栗は帰国後四度の勘定奉行等、経済・外交・国防において重職を担い数々の近代化を推し進めたので、後年「明治の父」と司馬遼太郎からも称されました。

小栗が「幕府の運命に限りはない」と日本の運命には限りがない」と反対を押し切り建設した横須賀製鉄所(造船所)に対して、



ワシントン海軍造船所に往訪した際の遣米使節団 (前列右端から森田、小栗)

## 江戸城クイズ①(かわら版第71号9頁)の解答

- [1] 長祿元年(1457年)に江戸城を築き、現在も濠にその名を残す者は誰か。⇒(イ) 太田道灌…道灌濠は太田道灌が築いた江戸城の外濠の一部と云われている。
- [2] 江戸城天下普請で、慶長11年(1606)に縄張りを担当した者は誰か。⇒(イ) 藤堂高虎…藤堂高虎は層塔型天守を考案、外様大名でありながら発言力は幕閣に匹敵。
- [3] 江戸城寛永度天守の焼失後、天守の代わりとなったのはどれか。⇒(ウ) 富士見櫓…現存櫓の一つで、加藤清正が築いた江戸城最古の石垣の上に建っている。
- [4] 次のうち、実子に將軍位を継がせたのは誰か。⇒(ウ) 9代家重…徳川將軍のうち、実子に將軍位を継がせることが出来たのは8人に過ぎない。
- [5] 初代家康を祀る東照宮や將軍家の文庫が置かれた、江戸城西の丸の丘はどれか。⇒(エ) 紅葉山…御文庫(紅葉山文庫の名称は明治期から)の管理を任された書物奉行には、青木昆陽、近藤重藏、高橋景保がいる。
- 出題：当会理事 塚本一夫

日露戦争後に「日本海海戦の勝利は小栗さんが横須賀造船所を造ってくれたおかげ」と、東郷平八郎(明治時代の日本海軍の指揮官)が小栗の子孫に御礼を述べています。

後世の日本にとって大きな功績を残したにも関わらず歴史教育では教えないため、私も数年前まで小栗の名前さえ知りませんでした。同様に万延元年遣米使節団についても、当時アメリカ中から大歓迎され侍フィーバーが起る等、日米関係の礎となる貴重な史実ですが、殆ど知られていません。

明治維新を「日本が長年鎖国し外国に劣っていた結果、弱腰外交だった幕府を憂国の志士が倒した

日本の夜明け」とする歴史教育により、潜在的に多くの日本人がその歴史や文化に誇りを持ってなくしていると感じています。

勝者がつくったストーリーではなく、真の史実を伝え日本人に誇りをもってもらいたい。日本の未来のために尽くした小栗上野介の生涯は大切なことを教えてくれると確信しております。江戸城天守再建に対しても私達が未来に残すべき価値と同じ想いであります。同じ想いを共有する皆様に応援頂けますと幸いです。

映画製作準備委員会  
HPリンク



# 会員のひろば



**◆投稿、提案、  
当会イベント情報などを  
随時掲載します。**

朝鮮通信使が江戸城を訪れ、將軍と  
圖書伝授式を行った記念史蹟を江戸  
城に残したい。そして江戸城天守再  
建署名にも協力したい。

遠藤靖夫(埼玉県)

文祿・慶長の役によって断絶した  
日本と朝鮮は江戸時代に入って、「朝  
鮮通信使」という世界にも稀な外交  
使節団を通じて国交を回復し、二百  
余年の平和な時代を築きました。二  
〇一七年十月、朝鮮通信使に関する  
記録がユネスコの「世界の記憶」に  
登録決定したのは人類の平和的な共  
存と交流の模範的な記録としての価  
値が認められたからであります。

ソウルを出発した朝鮮通信使は釜  
山から船旅で大阪上陸、陸路を江戸  
(東京)まで往復半年から八か月の  
旅を続けます。その結果、沿道各地  
に行列絵巻、屏風絵、書画、奉納絵馬、  
玩具などの資料が数多く残されまし  
た。現代の朝鮮通信使である「友情  
ウォーク」はソウルー東京二千里口  
を五十三日間踏破。二〇〇七年の  
第1次以来、来年で十回目となりま  
す。

東京(江戸)は通信使の最終目的  
地。そして江戸城は圖書伝授の儀式  
が行われた「平和の殿堂」でもあっ  
たのです。しかし、その東京はいま、

通信使の史蹟となると不毛地帯と呼  
ばれています。関東大震災や東京大  
空襲でほとんどが焼失してしまっ  
た。その後も顧みられることがなかつ  
たからです。

旧江戸城の一角にせめて通信使の  
説明板とモニュメントを設置して  
「平和の偉業」のしるしを残せない  
かー私たちの長年の悲願でした。そ  
こにかすかな光が射して来た、と言  
えそうなのが今回の「江戸城天守を  
再建する会」との邂逅です。

全国の朝鮮通信使縁地連絡協議会  
(八十七団体加盟)、そして対馬から  
東京までの旅を続ける友情ウォーク  
は貴会との連携によって署名協力等  
は可能で、互いに協力して行きたい  
と願うものであります。

**日本橋から江戸城天守が見える日を  
待ち望んでいます**

椎野登貴子(東京都)

以前より商工会議所やロータリー  
にて署名運動に関わり、とても意義  
のある活動と思っておりました。日  
本橋の高架も取り壊されることが決  
まり、東京の景観が徐々に整備され  
ていく中で、東京駅から見えた江戸城  
に天守が再建される光景を想像する  
と、まさに日本のシンボルである  
と思えます。

**匠の技の凝縮した技は  
人材育成に必須です**

黒子猛夫(千葉県)

城は日本建築の匠の技が凝縮して  
いますので、次世代に引き継げば人  
材育成に役立つと思っております。城  
の建設で来館者からの収入を人材育  
成にまわし、良い循環が生まれるこ  
とを期待します。



## 事務局 からの お知らせ



**「請願署名」に  
ご協力ください**

二〇二四年は一万筆の請願署名を  
目標としています。

会員の皆様には、ご家族、ご友人  
の皆様にも、この請願署名にご協力  
くださるようお願いしてまいります。

**新規会員の勧誘にご協力を**

当会の活動は主として正会員、賛  
助会員の会費によって運営されてい  
ます。本年も会員二〇〇〇名を目標  
としています。ご協力ください。

**住所変更届けのお願い**

ご住所・電話番号などが変更した  
場合、ファクスや電話で早めにご連  
絡ください。会からのお知らせが届  
かなかつたりします。

**メールアドレス登録のお願い**

メールアドレスをお持ちの方は事務  
局にメールをお送りください。イベ  
ント等の情報をお届けします。

**会費納入のお願い**

それぞれの会員の皆様のご入会前  
月に次年度の一会費納入のお願い  
をお送りしています。ご協力  
のほどお願い申し上げます。

**年会費納入法**

◆年会費カード決済  
会費納入や寄付金の決済は、クレ  
ジットカードにも対応しています。  
カード決済ご希望の方は、当会ホー  
ムページからどうぞ。



自動継続をご希望の方は、HPの  
「カードによる継続会費のお支払い」  
からお手続きください。

◆年会費自動払込(ゆうちょ銀行)

## 江戸城天守を再建する会 入会案内



367年前に焼失した江戸城天守を、  
東京のシンボルとして甦らせたい。  
そんな思いを共有する人たちが集う  
NPO 法人です。2006年NPO 法人設立。  
当会主催の各種イベントや講演会のご案内を  
するほか、会報『かわら版』(年4回)を  
お届けします。

- 会 長：太田資暁(太田道灌公18代子孫)
- 理事長：島田昌幸(テレビ東京顧問)
- 年会費：正会員(個人)10,000円
- 正会員(法人)100,000円
- 賛助会員(個人)3,000円
- 賛助会員(法人)30,000円

- 入会手続
- 1 ホームページ(クレジットカード)
  - 2 ゆうちょ銀行・払込取扱票
- ▶詳しくは当会事務局へお問合せください。

当会では、ゆうちょ銀行口座から  
の年会費自動払込を行っています。  
ぜひご利用ください。ご希望の方  
は事務局までご連絡ください。申込  
書をお送りします。

**認定NPO 法人の当会への寄付金は税の  
控除が受けられます。優遇措置を  
利用してご寄付にご協力ください。**

個人法人にかかわらず税制上の優遇措置  
が受けられます。特に相続での税の控除が  
あります。詳細は当会のホームページで「寄  
付」の欄をご覧ください。

※「かわら版」への投稿、提案、  
お問合せは、事務局宛に  
郵便・FAXまたは  
メールにて  
お願いします。

**【事務局】**  
〒101-0065  
東京都千代田区西神田 2-5-7-505  
E-mail=info@npo-edomo.org  
事務局長/浅井純一、山本りか